

NEC Cloud System ポータル ポータル基盤構築手順書

第3.0.1版
2017年05 月
日本電気株式会社

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・ LINUXは、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- ・ OpenStackは、OpenStack Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Elasticsearch, Logstash, Kibana は、Elasticsearch BVの米国およびその他の国における登録 商標または商標です。
- ・ Drupalの名称およびそのロゴは、Drupal Associationが所有する登録商標または商標です。
- ・ Cloudifyは、GigaSpaces Technologiesの登録商標または商標です。
- ・ Google ChromeはGoogle Inc. が所有する商標または登録商標です。
- ・ Mozilla、Firefoxの名称およびそのロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他、本書に記載されているソフトウェア製品およびハードウェア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、本書内では、®、TM、©の記号は省略しています。

目次

作業手順

1. Ansibleプレイブック構成ファイルの配置と環境に合わせた編集
2. ALL-IN-ONE環境構築
3. kibana手動設定

◆作業手順

kibana | Overview | Visualize | Dashboard | Settings | About

Index Patterns

- logstash-*
- logstash-YYYY.MM.DD
- logstash-*logstash
- logstash-*
- portal-history-administrator-*
- portal-history-tenant-*

Configure an index pattern

In order to use Kibana you must configure at least one index pattern. Index patterns are used to identify the Elasticsearch index to run search and analytics against. They are also used to configure fields.

☒ Index contains time-based events

☐ Use event times to create index names

Index name or pattern

Pattern should use a valid elastic index name using "*" as a wildcard. Example: logstash-*

logstash-*

Cancel Create

項番	作業項目	対象ノード	作業内容	備考
			(settings) - (Objects) で、提供パラメータファイルの下記を Load します。	
			all.settings.json	
			Kibana の Indices 作成のために elasticsearch に格納したデータを削除します。	
			elasticsearch に格納済みのデータ(インデクス)をリストアップします。	
			※<IPアドレス> は、elasticsearch サーバの IPアドレス	
			# curl -XGET http://<IPアドレス>:9200/_aliases?pretty	
			出力例)	
			{	
			"portal-history-project-f21472e96ab4e59bb46a07dd6044dbb-2015.10.09" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"portal-history-project-aea8a5736ffa42ee98d181dcaa96b531-2015.10.15" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"portal-history-tenant-b01b03328f7243b780e194135e2187b6-2015.09.29" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"portal-history-project-4596eb6f42d140beb5b0f17110932b2-2015.10.08" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"portal-history-administrator-2015.10.29" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"portal-history-project-none-2015.10.28" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"ana_parts1" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			"portal-history-project-none-2015.10.16" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			出力結果から、"ana_parts1" および "ana_parts2" あるいは、	
			"kibana" 以外のデータすべてに以下のコマンドを実行して、データ削除を行います。	
			※<IPアドレス> は、elasticsearch サーバの IPアドレス	
			※<インデクス名> は下記サンプルを参照	
			上述コマンドの出力結果例を以下に示す。青文字をインデクス名とします。	
			portal-history-project-f21472e96ab4e59bb46a07dd6044dbb-2015.10.09" : {	
			"aliases" : []	
			}	
			※URL エンコードが必要なケースがあります。	
			# curl -XDELETE http://<IPアドレス>:9200/<インデクス名>	
			出力例)	
			{ "acknowledged":true}	
			※再度上述のリストアップコマンドにて出力されなくなることを確認してください。	